

## 【マクロご使用のお客様必見！】

複数条件を指定できる、IF(MULTI)、SELECT\_CASEコマンドでマクロをシンプルで分かりやすく！

※V-SFT Ver.6.1.1.0以降で使用可能です。

**IF(MULTI) : 2つの条件で、動作を変更したい場合にオススメ**

**Before** IFマクロを駆使して組んでいた…

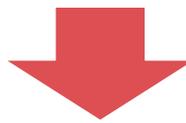
```

スイッチ ON マクロ [無題.V9] - マクロエディタ
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ユーザーレベル(U) ヘルプ(H)
0 IF(PLC1[WM00000100] == $u00100) (W)
1   IF(PLC1[WM00000200] > $u00200) (W)
2     $u00300 = $u00300 + 1 (W)
3
4   ELSE
5     $u00300 = $u00300 - 1 (W)
6   ENDIF
7 ELSE
8   $u00300 = $u00300 - 1 (W)
9 ENDIF

```



パッと見て把握できない…  
複雑になって、ミスが多い…  
解析も大変！



**After** IF(MULTI)を使うと、**9行 → 5行に！**

```

スイッチ ON マクロ [無題.V9] - マクロエディタ
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ユーザーレベル(U) ヘルプ(H)
0 IF(PLC1[WM00000100] == $u00100) AND (PLC1[WM00000200] > $u00200) THEN (W)
1   $u00300 = $u00300 + 1 (W)
2 ELSE
3   $u00300 = $u00300 - 1 (W)
4 ENDIF

```

AND/OR選択可

マクロ編集サポート

比較	IF(F0 (条件) F1) AND (F2 (条件) F3)	
CMP	F0とF1の条件を満たし、かつF2とF3の条件を満たすならばIF以下の処理、満たさなければELSE以下の処理を実行します	
ELSE	ELSEとその処理は省略可能です	
ENDIF		
ENDSELECT		
IF		
IF(MULTI)		
SELECT_CASE		

比較式1	WM00000100	==	\$u00100
	AND		
比較式2	WM00000200	>	\$u00200



簡略化されて**視覚的に分かりやすい！**  
**解析もラクラク！**  
**改造時も安心だね！**

**SELECT\_CASE** : デバイス内の値によって、動作を変更したい場合にオススメ

**Before** IFマクロを駆使して組んでいた…

例) 値の条件が4つの場合

```

スイッチ ON マクロ [無題.V9] - マクロエディタ
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ユーザーレベル(U) ヘルプ(H)
0 IF(PLC1[WM00000100] == $u00100) (W)
1   $u00500 = $u00500 + 1 (W)
2 ELSE
3   IF(PLC1[WM00000100] == $u00200) (W)
4     $u00501 = $u00501 + 1 (W)
5   ELSE
6     IF(PLC1[WM00000100] == $u00300) (W)
7       $u00502 = $u00502 + 1 (W)
8     ELSE
9       IF(PLC1[WM00000100] == $u00400) (W)
10        $u00503 = $u00503 + 1 (W)
11      ELSE
12        $u00500 = 0 C:4(FILL)
13      ENDIF
14    ENDIF
15  ENDIF
16 ENDIF
  
```

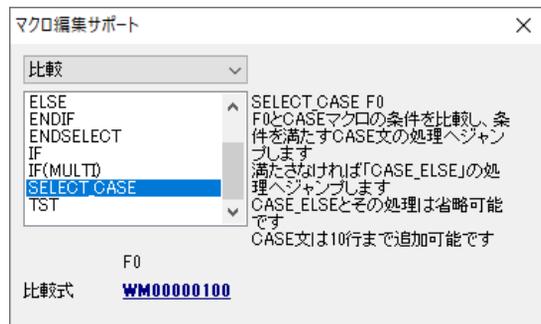


解析が大変…  
ミスを防ぎたい!  
ENDIFがたくさん!

**After** **SELECT\_CASE**を使うと、**17行 → 12行に!**

```

スイッチ ON マクロ [無題.V9] - マクロエディタ
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ユーザーレベル(U) ヘルプ(H)
0 SELECT_CASE PLC1[WM00000100] (W)
1   CASE == $u00100
2     $u00500 = $u00500 + 1 (W)
3   CASE == $u00200
4     $u00501 = $u00501 + 1 (W)
5   CASE == $u00300
6     $u00502 = $u00502 + 1 (W)
7   CASE == $u00400
8     $u00503 = $u00503 + 1 (W)
9   CASE_ELSE
10    $u00500 = 0 C:4(FILL)
11 ENDSELECT
  
```



簡略化されて視覚的に分かりやすい!  
シンプル!  
他の担当者でも理解できそうだね!



簡略化したマクロで作業効率アップ!  
改造時も、解析しやすい! → 作業時間短縮につながります!